

| | |
|-------|--|
| 紙芝居名 | マー君いいところあるじゃん |
| 対象学年 | 小学校3・4年 |
| 対象教科 | 道徳、総合学習 |
| 紙芝居概要 | 嫌われもののマー君が、巣から落ちたつばめのヒナを拾います。それを見ていた一郎君は、マー君のやさしい一面に気づき、今までの見方を変えていきます。 一郎君らの心情変化を通し、友人を尊重し合う心を学んでいく姿を描いています。 |
| 学習の目的 | だれでもよい面、悪い面を持っていることに気づき、お互いに尊重し合う心を育む。 さらに、生命を大切にする心を醸成する。 |

| | 学習活動 | ポイント・備考 |
|------------|---|---|
| 導入 15分 | ◆紙芝居（8分）を見た後 ○紙芝居に出てきた登場人物をあげさせる。 マー君、一郎君、さっちゃん、クラスのお友だち、 （つばめのヒナ） | ◆紙芝居の内容を理解できたかどうか確認しながら進める。 |
| 展開 20分 | （1）マー君のいいところはどんなところでしょうか。 ・つばめのヒナを拾い、水を飲ませようと必死になっている。 ・ヒナのお墓をつくってあげる。 ・つばめの巣を心配している。 ・ヒナのお墓にお花を飾る。 ○ヒナがぐったりして回復しない時のマー君の気持ちは？ ○マー君は、ヒナのことを、友だちに相談できなかったのは、どうしてでしょうか？ ○一郎君に声をかけられたときのマー君の気持ちは？ （2）一郎君やサっちゃんは、マー君のことをどう思っているでしょうか（二人の心情変化を読み取る）。 マー君を嫌っている→一郎君は、ヒナと接しているマー君を見て、生命を大事にするマー君のやさしさを感じる →「マー君いいところあるじゃん」とマー君のよさを認める →マー君に近づき、思い切って声をかける ○一郎君が、「マー君いいところあるじゃん」と感じたきっかけはなんですか？ ○マー君に声をかける一郎君の気持ちは？ ○サっちゃんの気持ちは、どのように変化しましたか？ また、どうして変化したのでしょうか？ | ◆嫌われもののマー君と、かかわらないようにしているクラスの友だち→いじめの心のもとになる可能性もある。 ◆つばめのヒナの世話をするマー君の姿 →やさしい面を持っていることに気づく一郎君。 ◆マー君のやさしさに気づいた一郎君は、思いきって話しかける→マー君は驚くも、つばめの巣を指さす ◆動物も人間も生命をもち、時と共に成長、そしてつながっていることに気づかせる→生命の連鎖 ○犬やネコ、鳥などのお世話をしたことがあるか →命を大切にする心を育む ◆それぞれ良い面がある、お互いに認め合い、友だちを大切にする心を育む →お互いに尊重し、いつしみあう心の醸成 →いじめ防止 ◆お互いに認めあう心が生まれていく心情変化の過程を読み取る。 |
| まとめ 10分 | （3）この紙芝居のお話を見聞きして、どのようなことを感じましたか。 | ○つばめのヒナを、どうしたら良かったと思いますか？ ◆鳥（のヒナ）には絶対に触らないように指導し、このような場合は先生に連絡することを徹底させる。 |
| その他 | ○良いところ（悪いところ） みつけっこゲーム 各場面における登場人物の行動（マー君、さっちゃん、一郎君）を確認し、その子の良いところ（悪いところ）を探し出す。 | ○自分のいい点、悪い点をあげさせる →だれにでも、長所・短所があることに気づかせる。 |

<ご 参 考>

◆つばめやスズメなど、野鳥のヒナには、絶対に触らないようにご指導ください。

ご参考までに、日本野鳥の会の月刊誌「野鳥」の一部を抜粋引用します。

「巣から落ちたヒナは、助けるなら巣に戻してあげましょう。赤裸のヒナの場合、親鳥による保温やケアが必要で、人の手で養うのは難しい段階です。孵化したヒナも途中で巣から落ちたり、外敵に襲われて死んだりするものが少なくないのが自然の仕組みです。巣立ち直後のヒナは、まだ人を警戒することを知らない上に、動作が鈍く、うまく飛ばません。親鳥による給餌や安全管理のもとで、これから生きのびる術を学習している大切な時期です。ヒナを拾って持ち帰ることはやめましょう。(『野鳥』632号(2000年6月号)』(財)日本野鳥の会/『野鳥』は日本野鳥の会・会員向け月刊誌)」

◆(財)日本野鳥の会 ヒナを拾わないで!! キャンペーン2007 抜粋引用

<http://www.wbsj.org/fukyu/hirowanaide/index.html>

今年も野鳥の繁殖シーズンとなりました。身近な場所でも鳥たちのさえずりを聞いたり、かわいいヒナの姿を見つける機会が増えてきます。ヒナはまだ上手に飛べない状態で巣立つことが多いのですが、そのようなヒナでも親鳥がエサを運んだり、安全な場所へ導いたりして育てている最中なのです。あきらかに怪我や病気(注)とわかるもの以外を、巣から落ちた・迷子だと思って拾ってしまうと、親鳥から引き離してしまうことになります。

今年で13回目となる当キャンペーンでは、巣立ちヒナを見つけた際の正しい対処方法を広く伝えることを目的に、普及を行ってまいりました。しかし、それでも4月から7月の野鳥の子育てシーズンには、「ヒナを拾ったがどうしたらよいか?」という相談が多くなります。相談は日本野鳥の会の会員以外の方からがほとんどを占めており、主に都市部で、スズメなど身近な野鳥の巣立ちヒナが拾われています。そのため、より多くの方々に巣立ちヒナへの正しい対処法をお知らせしていくことが必要かと思われま

注:怪我や病気の野鳥を助けたいときは、各都道府県の鳥獣保護担当部署に相談して指示をあおぐようにしてください。

<http://www.birdfan.net/about/faq/kega.html>

◆(財)日本野鳥の会「野鳥に関するご質問」のサイトを

ご参考になさってください。(質問例は下記の通り)。

http://www.birdfan.net/about/faq/find_hina.html

Q: どうしてヒナが地面にいることがあるのですか?

A: 野鳥のヒナの多くは、卵からかえって羽が生えそうとすぐに巣立つので、巣から飛び出す段階ではうまく飛ばずに落ちるものもあります。でも、怪我をしていなければ、親鳥が給餌や誘導をするうちに、少しずつ飛べるようになって考えられます。

Q: ヒナを見つけたときは、どうしたらよいのでしょうか?

A: 巣立ち直後のヒナはあまり動きません。親鳥は人がヒナの近くにいと警戒してやってこられません。ヒナに手を出して親子を引き離すと「誘拐」になるので、その場を去る方がよいでしょう。

Q: ネコやカラスに食べられないでしょうか?

A: 心配ならば、ヒナを近くの茂みの中に置いておくこともできます。親鳥は姿が見えなくても、ヒナの声で気づくことができますでしょう。

